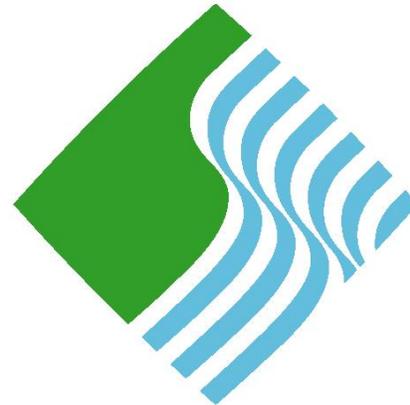


# 西 条 市



## 【テレワーク導入の背景（課題）】

- 2004年の市町合併により、学校文化の統一化と教職員の多忙化の解消が急務となる。
- 校務支援システムにより、校務の電子化・省力化が実現したが、利用場所・時間に制約が課されてしまい、結果として利便性が大きく低下した。  
→利便性の向上、ワークライフバランスの確立が課題に

## 【テレワーク導入の概要】

- 2016年4月から、小・中学校職員を対象にテレワーク導入開始。
- 個人所有PCを用い、時間や場所を選ばない、安全な持ち帰り校務が実現。※持ち帰り仕事を推奨するものではない。
- 2019年2月現在で59.2%が利用。
- 育児や介護との両立のために「なくてはならないもの」として利用する先生が多い。
- テレワーク導入後、校務の省力化、教職員の満足度向上等の成果があった。

校務の省力化

★導入前と比較すると教職員一人あたり162.6時間/年の短縮

先生

時間外にまた出勤したり土日にわざわざ学校に出てこなくてもよくなり、とても便利になりました！

テレワークは秀逸なシステムだ。重要なデータを持ち出す必要がない。おかげで、子どもの成績の個人情報等を持ち歩くことなく家で安心して仕事ができるようになりました！

家で好きな時間に仕事ができるテレワークシステムは、子育て中で残業しにくい教職員にとって非常にありがたいシステムです！

教職員のテレワーク満足度 82%

親の介護のため、やむを得ず休職をしようと思っていたのですが、これで救われました！

校務支援システムやテレワークは本当に役立っており、なくてはならないものです。校務の情報化にも目を向けてくださったことに対して、教員として本当にありがたく思います！

毎日夜遅くまで残って仕事をしている教職員の負担を少しでも軽減したいといつも思っていました。子どもと向き合う時間の確保のために大変有効であると思っています！

校長先生